

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 6 年 4 月 30 日

設置・運営主体	三和エンジニアリング株式会社		
設置主体	三和エンジニアリング株式会社		
経営主体	三和エンジニアリング株式会社		
事業所名 (施設名)	丸山台プライムスター保育園	種別	保育所
所在地	〒351-0112 埼玉県 和光市 丸山台 2-28-13		
電 話	048-423-7082		
FAX	048-423-7084		
Email	ps_maruyama@sanwa-e.jp		
URL	http://www.first-littlestar.jp/		
施設長氏名	柴山 理名		
調査対応担当者	柴山 理名 (所属、職名：園長)		
利用定員	80 名	開設年	令和 2 年 4 月 1 日
理念・基本方針	<p>三和エンジニアリング株式会社の運営する保育園は、利用者（子どもと保護者）の最善の利益を尊重し、地域における子育て支援を核として愛情と信頼を基盤とした楽しい保育を目指すことを基本理念とします。</p> <p>【保育理念】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間形成にとって極めて重要な乳幼児期を、心地よい愛着関係と安心できる環境の中で育てる。 ・子どもの最善の利益を守り、子ども一人一人の心に寄り添い、心身のバランスを考慮した保育を行う。 <p>【保育方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心できる、くつろいだ雰囲気の中で子どもたちの様々な欲求を満たし、満足を与える保育をする。 ・日々の温かい受容的な関わりの中で、子どものありのままを受け止め自己を肯定する心を育てる。 ・子どもの成長、発達を促し可能性や力を信じる。 <p>【保育目標】</p> <p>プライムスター保育園の目指す子ども像</p> <ol style="list-style-type: none"> ①心もからだも健やかな子ども ②人を享受し、思いやりのある子ども ③よく遊び、豊かな感性と創造性にあふれる子ども 		
開所時間 (通所施設のみ)	月曜日から金曜日：7時から20時まで 土曜日：7時から18時まで		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	0	0	0		
1歳児	16	14	1		4
2歳児	16	16	1		4
3歳児	16	15	1		2
4歳児	16	16	1		2
5歳児	16	7	1		1
計	80	68	5	—	—

(注) 1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		17人	
うち	保育士	10人	保健師・看護師 0人
	栄養士・調理員	3人	その他（保育補助） 4人
非常勤職員数		3人（常勤換算 人）	
うち	保育士	1人	（常勤換算 人）
	保健師・看護師	0人	（常勤換算 人）
	栄養士・調理員	0人	（常勤換算 人）
	その他（保育補助）	2人	（常勤換算 人）
<p>(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。</p>			
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 6人	非常勤： 2人
	退職	常勤： 8人	非常勤： 2人
(3) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		32歳（歳）	
(4) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		2年（年）	
<p>(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。</p>			

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	有	—
延長保育	有	1.2歳児30分120円 3歳児以上30分80円
休日保育	無	—
障害児保育	有	—
一時保育	無	—
地域子育て支援センター	無	—
乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)	無	—
アレルギー等対応給食	有	—
その他(事業名:)		

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・令和 5 年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数)

0 人

・ボランティアの業務

--

【実習生の受け入れ】

・令和 5 年度における実習生の受け入れ数(実数)

社会福祉士 0 人

介護福祉士 0 人

その他 0 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準(昭和56年)に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	469.66 m ²	
	児童1人あたり	5.8 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	なし	m ²
	児童1人あたり	m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	令和	2 年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

・重要事項説明書に園への要望受付について記載し、入園前説明会にて説明を行っています。また、事務所前に第三者委員の掲示を行い、相談をしやすい環境を整えています。
・送迎時など日常において、職員と保護者の方とのコミュニケーションを心掛け、保護者の方が抱える不安や悩みに寄り添うことができるよう努めています。
・園にいただいたご意見は職員から園長に報告を行い、速やかな対応を心掛けています。また、全職員で共有をし共通認識のもと対応しています。
・1.2歳児クラスは、年3回、3.4.5歳児クラスは年2回の保護者との個人面談を実施し、園でのお子様の姿の共有やご家庭での悩み等を伺い、保護者の方に安心してお子様を預けていただけるよう努めています。
・園の保育方針については、保護者会や園だより等でお伝えし、保育内容に見通しが持てるようにしています。

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

【保育環境】

子どものあそびは、研究・実験そのものです。子どもは、生活とあそびの中で身近な物に興味を持ち、その特性や性質を知り感性を豊かにしていくとともに、生活に必要なスキルや人との関わり方を獲得していきます。子どもがあそぶ環境は、五感を使い十分に試行錯誤ができるものでなくてはなりません。私たちの保育園では、そんな子どもの育ちを保障するために5つのカテゴリーのあそびを設定し保育をしています。（せいかつあそび・積み木・絵本・その他のあそび・戸外あそび）

【手作りの抱き人形「赤ちゃん」】

1.2歳児クラスの子どもたち一人一人に保育者が手作りした「赤ちゃん」を設定しています。この赤ちゃんは子どもたちが「自分と第三者との間に信頼関係を築く」という行為の土台となっています。子どもたちは日々、自分の欲求や思いを保育者に受け止められ、あたたかい声掛けや関わりの中で相手を信頼し情緒が安定していきます。そして徐々に、愛着形成ができた保育者が自分になっていることを模倣しようと、自分の「赤ちゃん」に関わる可愛らしい姿がみられています。小さな時からあそびの中で、人間関係の土台を育てています。

【あそびの森】

3歳児クラス以上では、日常的に行う幼児教育（あそびに没頭できる環境）として自然を活用し遊べるフィールドを設定しています。そこには、既製品がなく自然物や道具を使い、自分たちであそびを作り出していきます。始めは、偶発的な出来事に対応をしていくだけですが、徐々に自分の頭の中で考えたことを形にするために、物の性質を理解し道具を使い、仲間と協力していくという試行錯誤を繰り返していきます。また、ここで経験したことを保育園に持ち帰り、さらに調べたり話し合う時間も大切にしています。大人に「与えられた教育」では、得ることのできない本物の幼児教育の場として活用しています。

【第三者評価の受審状況】

・受審回数（前回の受審時期）

0 回（平成 年度）